



塚本監督

塚本連平氏（瑞浪高校1981年卒）監督・脚本の映画

35年目のラブレター

2025年 3月7日(金) 全国公開



重岡大毅

上白石萌音

大いに笑って 大いに涙ぐむ
感動の映画 是非劇場で



笑福亭鶴瓶

原田知世

瑞浪高校卒業生で映画監督の塚本連平さんがこの度、笑福亭鶴瓶主演の映画「35年目のラブレター」を制作され、今年3月7日に公開されることになりました。

この映画は、89歳でお元気な奈良県在住の西畑保さんの実話を、塚本監督が監督と脚本を手掛けて映画化されたものです。

塚本監督は西畑保さんの人生を知り、そのラブレターを読んで、絶対に映画にしたいと思われたそうです。

この映画は西畑さんが幼少期、同級生らから虐めにあって不登校になり、その結果大人になっても読

み書きが出来ず、辛い人生を送る中で支えてくれた奥さんとの愛睦まじい生活、そして64歳から夜間中学に入学して、やっとの思いで綴った奥さんへの涙のラブレターの物語です。

塚本監督はコロナ禍の中で西畑さんに4年間何度も電話取材して、夫婦・家族・絆、学ぶ事、夜間中学、戦争、普通って何？幸せって何？など多くの人生観を聞き取り、西畑さんが皆さんに伝えたかった事を少しでも多く網羅した映画に仕上げたと、仰っていました。

首都圏同窓会の皆さん、お近くの映画館で是非鑑賞してみてください。 文： 副会長 長谷川周三